

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2020年7月7日実施】

学校関係者評価委員氏名 【委員集約資料】

2019年度自己点検自己評価(2019年4月1日～2021年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価			
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見		
1 ・ 育 成 人 材 像	1 理念・目的・育成人材像	2.85		学校運営にあたり、一番大切にしていることが、ミッションと理念である。これを基に、作成している事業計画があるからこそ、健全な学校運営ができています。事業計画で考える中期計画は、学校の未来を表現したものであり、そこで考えられた組織目的、運営方針、実行方針、実行計画が学校の成長につながってきた。 また理念、経営者の言葉、学校の考え方や組織文化を、さまざまな形で文書化し、組織内に浸透させるとともに、新たに組織に入ってくる人にも外部にもわかりやすく示していくことにかかりの力を注いでいる。このことが、学園、学校の活性化につながっていると考える。	業界の変化に対応するため、育成人材の見直しは、常にかつ組織的に行われなければならない。本校では、その専門職として、ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(※)を置き、育成人材像から学科の教育内容の見直しを行っている。 ※ファカルティ・ディベロップメント・コーディネーター(FDC) 専門学校における教育の構成要素 ①養成目的と教育目標(社会ニーズと卒業時到達目標) ②目標達成プロセス(カリキュラム・学年歴・時間割・シラバス・コマシラバス) ③目標達成素材(教科書・教材・教育技法) ④目標達成支援人材(担任・専任教員・講師) ⑤評価基準(透明性・公平性・競争性) を学校・学科の独自性・有効性に役立つよう改革する核となる人材。	3	【大川委員】 理念を大切にしながら進化してって素晴らしいと思います。  【松永委員】 素晴らしい理念です  【村橋委員】 理念、目的、育成人材像が明確に示され、その改革についても積極的な取組姿勢がみえる。		
2 学 校 運 営	2 運営方針	2.4	3	法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するよう努める。	学校運営をマネジメントシステムの準備(計画)と実行として捉え、マネジメントスキル、知識、そしてリーダーとしての研修を重視している。マネージャーは組織運営者であることを前提としている。 また、経歴の浅い教職員が大半である為、毎月1回の全体会議で教務研修を実施し学園・学校の理念周知の為に研修を実施している。	3	【大川委員】 先生方のモチベーションも高く学校運動の計画、実行どちらも素晴らしいと思います。  【松永委員】 素晴らしい運営をされていると思います  【村橋委員】 事業計画の教職員全員での共有と具体的な実現に向けた組織づくり・体制が整えられている。また議題解決に向けた会議運営、意思決定に迅速である。		
	3 事業計画							法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を作成している。事業計画を立てること、運営方針を定めることは、常に同時に考え、実践している。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。	事業計画を教職員が自立的に計画し決定し全員で共有する。その上で職場運営が実行に移されていく。 その運営のチェック機能として ①学園の常務会議、②学校ごとの戦略会議(運営責任者会議)、③運営会議(学科責任者会議)、④学科会議、部署会議があり、計画遂行の確認をする。 問題点を早期に見出し、対策を立て、実行するプロセスを確立している。
	4 組織運営							意思決定に関しては、重要事項の優先順位と対応する機関が明確である。 毎年事業計画策定という厳しい作業があることで、目標志向性の高い組織運営が行われている。	会議については下記2点を重視している。 ①会議の進行ルール ②議題発信と議事録配布・保管のルール また、会議についての研修を実施している。
	5 人事・給与制度							採用計画と人材育成のための研修は、システムとして確立され、有効に機能している。採用にあたっては、学園本部が中心となり、採用広報や、採用試験を実施している。採用は採用基準の基、厳正に実施している。また、その後の教職員の育成には、もっとも力を入れている。 そして、目標管理制度に基づき、成果に応じた人事や賃金決定が行われている。	数字目標を達成する過程の業務や、数字だけでは評価できない業務は情意効果として評価している。 目標は常に、健全な学校運営・学科運営を実現できているかという視点で立て、評価も公平に行い、学校・学科の成長と教職員の成長に結びつくようにしている。 また、職員の職場に関するアンケートも実施。理念、目標の理解度や、職場満足度、各自の希望などの項目でアンケートを取り、その結果を受けての、職場環境の改善にも着手している。
	6 意思決定システム							法人としては、事業計画・運営方針を定めることを最も重要視している。その意識で毎年、法人として事業計画・運営方針を定めている。 明文化、文章化され定められた事業計画・運営方針を基に、学校運営に関わる全ての人に周知徹底すること、そして、共感してもらうことに、年間通じ力を入れている。それは、各種の研修(教職員・講師)、会議(運営会議・学科会議・課別会議等)で行い、全教員が納得して学校運営に携わる環境作りをしている。 このことが、学校・学科の教育成果に繋がっていると考えている。常に市場ニーズに対応した事業計画・運営方針をこれからも作成するよう努める。	会議は 1. 法人理事会・評議員会 最高決議機関 2. 学校戦略会議 運営方針の起案会議 3. 法人学校運営会議 運営方針の問題を発見・対策立て会議 4. 運営会議 学校の目標達成に向け、発生する問題解決会議 5. 学校全体会議 決定事項の周知、教務研修の実施 6. 学校学科会議・部署会議 部署の問題解決会議 7. グループ各委員会会議(広報委員会・総務人事委員会・就職委員会・国家試験対策委員会・学科別教育研究委員会) 8. 様々なプロジェクトの会議がある。
	7 情報システム							業務効率化は進んでおり、職員の残業時間も年々減っている。 効率化された部分は学生対応に充てられている。	退学者防止や就職支援で結果が残せるようにしたい。

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2020年7月7日実施】

学校関係者評価委員氏名 【委員集約資料】

2019年度自己点検自己評価(2019年4月1日～2021年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
3 教育活動	8 目標の設定	2.7		教育指導要領に基づき、学園の理念に沿った教育を行っている。 教育課程編成委員会でのご意見を下に毎年カリキュラム更新もしている。	PCP教育 MMPプログラム	2.7	【青山委員】 コロナ下の対応としていち早くオンライン授業へ移行できたことはすばらしい。フィードバックを繰り返すことでより上質な内容にしていって欲しい。  【大川委員】 退学や国家試験の合格率が新しい取り組みによって数字に出てくるとより評価が上がっていくと思います。  【倉澤委員】 オンラインを活用した学びへの挑戦はとても高く評価される。今後に向けては ・アーカイブで残すもの(繰り返し) ・ライブでの発信 ・オフラインでの対面 のセグメントで教材やコンテンツを整理することでより、多様なニーズにこたえることが出来付加価値を出せるのではないかと思う  【村橋委員】 積極的なカリキュラムの改善と教育の質の向上への努力が見られる。全員合格には到らないまでも高水準の合格率を保っている。
	9 教育方法・評価等	2.25		養成目的・教育目標を明確にした人材育成を行っている。 今後はキャリア教育やクラス形成に力を入れて、目的意識喪失による退学防止などにも反映していきたい。職業観の植え付けが重要である。	養成目的 教育目標 担任マニュアル 学生サポートブック		
	10 成績評価・単位認定等	2.4		成績評価・単位認定については、教育指導要領と学生便覧に明記している。 それらに基づき、評価・認定を行っている。	教育指導要領 学生便覧		
	11 資格・免許取得の指導体制	2.4		美容師科国家試験合格率は96.2%で、前年度より高くなっているが、全員現役合格をさせたい。その為には低学力・低技術者のフォローをどのようにやっていくかがポイントになる。不合格者については今夏国家試験受験をサポートしている。	再支援プログラム		
	12 教員・教員組織	2.2		法律に則った教員配置はできている。教員の質向上については、学科ごとに特徴が異なる為、それぞれに合わせた取り組みを行う必要がある。	講師会議 学科ごとの科目連絡会		
4 学修成果	13 就職率	2.4		今年度の就職率及び3月末日内定率目標は達成することができた。 キャリアセンターと教務の連携方法を工夫し、学生一人ひとりに合わせた就活プランを立案。 計画に対する役割を明確に実行と確認を繰り返すことでサポートできたことが要因となる。 ただし、課題にもありましたヘアメイク科については、入学後から職業の進路変更する学生が発生するため、職業選択からスタートすることになる。 職業が決まらなると求人があっても受験をしないため、就職率にも影響を及ぼしている。 ヘアメイクに関する職業理解を深める取り組みを業界のご意見をいただきながら、改善していきたいと思う。	就職率を向上させるとともに離職率の改善に努めている。 離職理由として仕事内容のギャップや職場の人間関係が多くある。 学生本人の課題もあるが、企業さまも近年の新入職者の早期離職は問題視されている。 近年の学生が仕事に対してどのような価値観を持ち、将来ビジョンを描いているのかなど、採用担当者やオーナー様と積極的に情報交換を行っている。 また、学生の考え方や視点をご理解いただき、「共に育てていく」ことに協賛いただける企業さまには、特別授業を実施していただくなど、様々な取り組みを行っている。	2.9	【大川委員】 第一志望でなくてもモチベーション高く就職でき卒業後もトップサロン以外の学生ともより交流していけたらよりよくなると思います。  【倉澤委員】 しっかりと就職へとつなげている印象、資格については学生のモチベーションや目的意識としても有効なため目標も立てながら推進することも良いかと考える。また学生に対しても「不合格」でモチベーションが下がるなど事前の意味付けを丁寧に行けると良い  【松永委員】 かなり高い教育レベルだと思います  【村橋委員】 就職率100%達成は素晴らしい。同校への業界の期待が伺える。
	14 資格・免許の取得率	2		学科により多種多様な資格取得を目指す、全員合格できていない現実がある。 専門学校で「資格」は大きな意味合いを持つので、合格率向上に努める必要がある。	各資格受験前には授業以外で対策講座を設けている。		
	15 卒業生の社会的評価	2.4		近年では、サロンがSNSでスタイリストデビューの告知をしたり、個人で発信する場があるが、全員がSNSを発信しているわけではない。 卒業生との関係性を継続するために、LINE等でつなぐ取り組みもしている。 特にサロンにおいては独立開業する卒業生が出始めており、学校から祝い花を贈呈する取り組みも行っている。	入学案内の卒業生ページへの掲載 美容専門誌:CHOKiCHOKi × ベルエポック美容専門学校の発行		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2020年7月7日実施】

学校関係者評価委員氏名 【委員集約資料】

2019年度自己点検自己評価(2019年4月1日～2021年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価	自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	学校関係者評価委員よりの御意見
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1			優れている…3 適切…2 改善が必要…1	
5 学生支援	16 就職等進路	2.4	就職支援の指標として、就職内定率と合格率がある。就職内定率は開講以来95%以上を維持しているが、合格率は職種によって様々である。売り手市場なため、求人不足になることはないが、学生が希望する企業やサロンに合格するためのメソッドを構築する必要がある。	受験した学生が記入している「採用試験報告書」を取りまとめ、年度の傾向と対策を授業内で実施している。	2.6	【大川委員】 学生とのつながりは今でもしっかりされていると思うのですが、より幅広い学生全員と交流、会話を在学中、卒業後もできるとよりよいと思います。  【倉澤委員】 ・中途退学については人間関係が主たる要因と考えられるので学生同士が支えあうピアサポート等の考えや組織も一つかもしれない。また、人との接点が大になる点(職業)ではあるがしっかり自分自身の成長を一步步ついでいけばいいという価値観も伝えながら、学生の特性にあった支援が必要と感じた。 ・オンラインの活用 学習の遅れやつながりをもつ方法としては中途退学者の予備軍に対してはオンラインも活用する、また保護者との連携もオンラインで新しい形を模索すると良い
	17 中途退学への対応	1.2	2019年度中途退学率は、7.8%と高い結果になってしまった。(昨年度6.8%)学生数が増えている、マスで動かすことに偏りが出た指導になってしまったかもしれない。マスで動かすことはもちろん個々も見ることにもう少し注力していきたい。そのためには、担任が日々学生と関わり、顔を合わせる事が重要である。	担任のクラスコーディネーター力向上		
	18 学生相談	2.7	学生の各種相談に対応できる体制を整えている。学生の相談内容が広域になり対応の際に専門的知識を伴うケースが多いため、スクールカウンセラーや留学生担当の職員の配置など対応できるようにしている。	SSC(スチューデント・サービス・センター)と連携をして学園として学生相談室を設置している。 留学生担当教員は東京都専修学校各種学校の主催の「留学生受入れ担当者研修」を受講し、受入れ担当者の資格を取得できるようにしている。		
	19 学生生活	2.55	奨学金利用や健康管理、学生寮、サークル活動などを学生の生活支援の一環として実施している。養成像との直接の関わりはないが、美容分野への就学の機会や中途退学の抑止につながっていると思われる。	公的奨学金(日本学生支援機構・東京都育英資金) 医療機関 一人暮らしサポート サークル活動		
	20 保護者との連携	2.4	保護者会に参加できない、紙面のたよりだと関心を持ちにくい保護者にどうアプローチできるかがポイントになる。	保護者会 学科便り		
	21 卒業生・社会人	2	卒業生に対する支援体制は同窓会と就職サポートの2点になる。同窓会では、卒業生のうち、海外で活躍していたり、経営をしている方を招待して、セミナー等を実施しているが、回数も限られている。現在育成している職種も幅広く行っており、卒業後の支援についてのサポート体制が構築されていない。卒業生に対してのリカレント教育については、業界の方々と情報交換をしていながら作り上げていきたいと思っている。	滋慶学園グループとして、多くの職種を育成しているため、美容以外の分野についても学び直すことが可能。		
6 教育環境	22 施設・設備等	2.4	実習授業に力を入れている本校にとって、学内実習室が実際の現場で使われている設備を揃えていることが、必要不可欠である。実践教育のための学内施設、設備は整備されていると考えている。各教室、実習室は、各種の申請に必要な条件を全てそろえた環境として、承諾を得ている。	経年劣化の破損頻発箇所について修繕を実施。 経年劣化した備品については更新をしている。	2.9	【大川委員】 設備は整っていてとても良いと思います。  【倉澤委員】 現場実習は引き続き強化して欲しい  【松永委員】 素晴らしい環境だと思います  【村橋委員】 学習の環境としては申し分ない。
	23 学外実習、インターンシップ等	2	異国の文化・考え方を知ることができる国際教育は学生の将来にも大きな影響を与える。	現場実習		
	24 防災・安全管理	3	防災、火災訓練を実施し、学生、教職員、講師へ非難手順や方法を指示し実施している。救急時における知識の習得と意識付けは出来ている。職員を救命救急のための講習に受講させ救命救急コーディネーターの資格保持者を3名専任することができた。AEDを1台追加し基幹校舎に設置することで有事対応密度を上げることができた。	防災訓練の映像化(DVD)がされており、学生・教職員・講師全員が視聴し、防災の意識を高めている。 ※学生避難訓練:2019年4月12日実施 ※職員消火訓練:2019年4月12日実施  AEDの全校舎設置 校舎入り口付近に自動体外式除細動器(AED)計3台を設置している。月に一度自動体外式除細動器(AED)の点検をしている。 教職員には、使用方法の講習済みである。校舎入り口にシールを貼り、設置を知らせているので近隣の方々にも緊急の際使用できるようにしている。		
7 学生入 れ募集 と受け	25 学生募集活動	2.8	学生募集活動は、学則を基に、その年の入学案内、募集要項の通り、適正に行われていると考えている。	顧客となる、原宿好き、美容好き、ファッション好きの高校生を対象に、その顧客にあった価値を提供している。(価値:原宿コラボレーション) 授業内容や、体験授業でその体験化を図り、教育前教育として職業の理解を深めてもらえるように努め、HPやスマホ、SNSなどで多くの人に見てもらえるように情報発信に注力している。	2.9	【大川委員】 学生の募集はニーズに合わせて進化していてとても素晴らしいと思います。  【村橋委員】 目標以上の入学者を実現できており、優れている。
	26 入学選考	2.7	入学選考の基準は明確に定められ適性に入学選考が行われている。入学者数の予測を踏まえ財務を考えている。	AO、高校推薦、一般と、志願者に合わせた選考を適性に行なっている。		
	27 学納金	3	学納金については算定の内容を明確にしておりかつ毎年見直しを行い決定している。入学辞退者の授業料の扱いも文部科学省の通知趣旨に則って行っている。	入学金、授業料、諸費用を分けて学費徴収することで、教科書・教材費に関して無駄な費用請求を無くしている。 入学辞退者に関して3月31日までの申請に関しては、原則入学金以外の費用を受験生に返還している。		

学校法人 東京滋慶学園 ベルエポック美容専門学校 学校関係者評価委員会 会議資料

【2020年7月7日実施】

学校関係者評価委員氏名 【委員集約資料】

2019年度自己点検自己評価(2019年4月1日～2021年3月31日)による

大項目	点検・評価項目	自己評価		自己点検・自己評価項目総括	特記事項(特徴・特色・特殊な事情等)	評価	
		優れている…3 適切…2 改善が必要…1				優れている…3 適切…2 改善が必要…1	学校関係者評価委員よりの御意見
8 財務	28 財務基盤	3		短期・中期・長期の収支計画を立て財務状況の健全維持に努めている。収支・キャッシュフローの状況についても適宜確認できるようになっている。 学外に学校会計を担う株式会社があり財務面での処理については中立公正の立場で会計処理を実施しているの不正行為も未然に防げるようになっている。	学校法人東京滋慶学園財務諸表	3	【松永委員】 安定していいと思います  【村橋委員】 健全な経営が行われており、安定的な成長が見込まれる。
	29 予算・収支計画			厳しいチェック及び評価が行われ、いわゆる債務超過になったり、資金不足になったりする状況にはなっていない。 そのため、中長期的には財務基盤は安定し、本校の学校運営も安定していると考えている。 5か年計画に基づいた収支計画は中長期的な視点で物事を考えることができるため、財務基盤の安定に資するための大規模な計画もじっくりと立てることができ、この方針は今後も続けていくと考えている。	本部による財務状況のチェックを毎月受けている。 また監事及び公認会計士による監査、行政への報告などを行っている。		
	30 監査			現在のところ、監査報告書は適正な計算書類を作成している旨の意見が述べられており、適正な計算書類を作成していると考えている。 監査を有効に実施してもらうために、証憑書類の整理、計算書類の整備、各種財務書類の整理整頓に努めている。	私立学校法上義務付けられている「監事による監査」を受けているが、それに加えて、補助金対象ではない当学校において「公認会計士による監査」も受けている。 これによって適正な計算書類の作成とその信頼性の確保に努力している。		
	31 財務情報の公開			財務情報公開の体制整備は平成17年4月1日には終了し、体制整備はできている。 学園の特徴は、法改正の変化に迅速に対応できる機動力である。 今後ともどんな法改正にも迅速に対応していくと考えている。	「財務情報公開規程」「情報公開マニュアル」によって、秩序整然たる順序に基づいて情報公開に対処している点の特徴として挙げることができる。		
9 法令等の遵守	32 関係法令、設置基準等の遵守	2.4		法令や設置基準の遵守に対する方針は文章化し、法令や設置基準の遵守に対応する体制作りは、平成17、平成18年度で完全に整備させた。 また、教職員の啓蒙として、法令や設置基準を遵守に対する教育または研修を、実施している。	監事による毎年の監査に際して、業務監査の対象としてコンプライアンスの実施状況についても監査してもらっている。	2.7	【村橋委員】 コンプライアンス重視の経営姿勢が伺われる。
	33 個人情報保護			社会的にも個人情報流出のニュースが目立ち、必然的に学園主導ではあるが個人情報の取り扱いの意識向上につながった。 また、個人情報の取り扱いに関する情報整理やルールの策定、職員の研修などを整備したことにより管理の透明性を図ることができた。	個人情報管理シート CPA研修 CPO研修 TRUSTe		
	34 学校評価			学校評価は適切な手順・方法で実施をされており、評価結果についても学校情報の一部として公開をしている。	学校ホームページにて学校情報を公開している。 ・学校評価(2019年度)		
	35 教育情報の公開			自己点検・自己評価の結果を学校情報としてホームページ上に公開している。 情報公開という点では公開手段は現社会情勢に合った方法をとっており、実施内容は問題ないと考えている。	学校ホームページに下記情報を掲示している。 ・学校情報:トップページよりリンク ・職業実践専門課程:トップページよりリンク「別紙様式4」への導線を敷いている。		
10 社会貢献・地域貢献	36 社会貢献・地域貢献	1.5		国際交流システムが構築されていないことや留学生希望者が少ないこともあるが、国際的な授業機会を増やしていく工夫が長期的に必要なかもしれない。		2.1	【青山委員】 ボランティアについて、生徒たちの自主性や興味喚起するコンテンツを探り提示していく。  【大川委員】 地域活動を様々行って素晴らしいと思います。  【倉澤委員】 少しずつ増えている印象、人間としての幅の養成にもつながるので強化したいポイントである。学生がやりたいことを軸に設計するなどの学生主体の取り組みにできるとさらに良い  【松永委員】 結果は出にくいですが努力はされていると思います  【村橋委員】 より積極的な取組みが期待される。
	37 ボランティア活動			地域清掃だけでなく、NPO法人との連携を含めて学生が関わる案件を増やす必要がある。	定期的な地域清掃 SDGs		